【小学生高学年礼拝コンテンツ】

創造原理③創造目的｜神様の喜びとなろう

　今回は、「神様の喜びとなろう」という題目で、神様がすべての物を創造されたその目的について学んでいきます。

　皆さんは、私たちはなんのために生きているのか？考えたことはありますか？例えば、消しゴムは、鉛筆で書いた絵や文字を「消す」という目的があり、作られました。同じように、神様が人間を創られた目的、つまり、神様がどのような願いがあって、私たち人間を造ったのか、ということはとても重要なことです。なぜならそれは、「私たちは何のために生きているのか？」ということにつながるからです。

　神様は、万物・人間を創る前、何もないところで、ひとりぼっちでした。私たちも、ひとりぼっちは嫌ですよね。暗い部屋に何もなく、だれもいないとしたら、さびしくて、こわいはずです。いっしょに話をする相手がいたり、本やテレビがあれば、何もないときよりも、さびしくないですね。そこに、家族や好きな友だちがいれば、さらにさみしくないです。

神様も同じです。１人でいらっしゃると、さみしいし、うれしくなかったのです。そのような理由で、神様は人間と万物を創られたのです。こう聞くと、「自分が喜びたいから創ったなんて、自分勝手だな」と思った人はいませんか？しかし、神様は自分勝手に、ご自身だけ喜びたいから人間や万物を創られたのではありません。

　神様と人間は親子の関係です。私たちを生んでくれたお父さんお母さんは、私たちが喜ぶ姿をみて、怒りますか？喜びますよね。神様も同じです。私たちが喜んでいる姿をみて、喜ばれます。すなわち、私たちが生まれた目的は、「喜ぶこと」、「幸せになること」なのです。私たちが幸せを感じることで、神様も喜ばれるのです。その喜びを感じるために神様は人間を創造しました。

　では、私たちは、どうしたら、心の底から幸せになり、喜びを感じることができるのでしょうか？皆さんはどんなときに幸せを感じますか？

　神様は、私たち人間に幸せになるための秘訣を３つ用意してくれました。それを「3大祝福」といいます。聖書にあるように、神様は、アダムとエバをつくられて、「生めよ、ふえよ、地にみちよ、地を従わせよ」と言われ、人間に３つの祝福をくださったのです。これについて、よりくわしく見てみましょう。

　第一に「生めよ」です。日本語で「生めよ」というと、子どもを生むような感じがしますが、ヘブライ語の聖書では「実る」という意味で使われていることが多いようです。これは、1人1人が立派な人間として、成長するという意味です。立派な人間というのは、神様を中心に、心と体が一つになった人間です。そのような人間は、神様に似たものとなり、神様がいつもともにあるようになります。これを「個性を完成する」といいます。心と体が一つになった神様のようになることができれば、人は幸せになることができます。つまり、神様のように、心と体をひとつにしなさいということです。

　第二は、「ふえよ」です。男と女が、神様を中心とした結婚をして、幸せな家族・家庭を作りなさいということです。神様は真の愛のお方です。神様を中心とした家庭は、そこには真の愛があり、一生変わることがなく、私たちが死んで霊界にいっても、ずっと一緒で、ずっと真の愛がそこにはあります。また、世界中にこのような真の愛の家庭が広まっていくこと、つまり「地に満ちる」ことを神様は願われたのですね。

　第三は「地を従わせよ」ということです。これは、私たちが使っている万物を正しく主管しなさい、という意味です。神様は、人間が美しく、豊かに生きていけるように万物をつくられました。万物を正しく主管することができたときに、私たちは喜びを感じます。そして、人間と万物が真の愛で１つになることができれば、それはまさに地上天国になります。

　神様は、なぜ私たちに、このような貴い祝福をくださったのでしょうか？それは、神様が子女としてつくられた私たちに、すべての愛をくださるためです。私たちは、神様がくださった、この三つの祝福のみ言をよく守り、そのとおりに生きていくことによって、幸福に生きられるのです。

　幸福に生き、喜びを感じている私たちを通して、神様も喜ばれます。

　今回は、「神様の喜びとなろう」という題目で、神様がすべての物を創造されたその目的について学んできました。神様は、人間が喜ぶ姿を通してご自分も喜びを得たかったこと。神様の喜びは、人間が喜び幸せになること。

神様は、人間に三大祝福をくださったことを学びました。

　私たちも、まずは第一祝福の「生めよ」、つまり、心と体の統一を目指しましょう。自分の「心」（良心）の声をしっかり聴く生活をしてみてください。例えば、学校で困っているお友達がいたとして、心で神様を思って、「神様なら、お友達をどうしてあげるかな」と考えて、行動に移すことができれば、私たちは生活の中で神様と共にあり、１つになることができます。そうすることによって、神様の願われる幸せ、そして私たちの幸せに近づいていくことができるのです。